

はんなんTV(第9回 1015) 台本

コーナー名		
コーナー①	^{ポッチャ} <「boccia たのしもかい(会)！」-約20分->	
<p>12:00 (結果) 12:00-13:25 出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下(司会) ・石川(ナビゲーター) ・佐藤 萌香 (社会福祉協議会) ・石橋 亨弘^{としひろ} (泉州ホッチャクラブ) ・小田 (ホッチャアソシエイト) <p>(準備するもの) ポッチャのボール 十分なスペース 車椅子・補助器具</p> <p>一つ目→ 二つ目→ 三つ目→ 四つ目→ 五つ目→ そして</p>	<p>オープニング2人マイクを持つ。</p> <p>(森下)：みなさんこんにちは。 「阪南TV(はんなんティービー)」の時間がやってきました。 この番組の司会、FC大阪 石塚さんの代わりに務めます、 阪南市秘書広報課の森下です。</p> <p>(石川)：そして、ナビゲーターを務めます、秘書広報課の石川 です。 どうぞ、よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手>(全員で拍手します)</p> <p>(森下)：この番組は、「阪南市役所 防災コミュニティセンター(阪南まもる館)」 から、生放送でお送りしています。</p> <p>画像1 フリップ 画像を見ながら</p> <p>(石川)：本日のコンテンツは、</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【フリップ】</p> <p>^{ポッチャ}</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 boccia たのしもかい(会)！ 2 妊婦歯科健康診査と不妊不育治療費助成事業について 3 高齢者予防接種について 4 はんなん産業フェア×阪南音楽秋花火×阪南うまいもん市 5 文化財ミニ展示「サラダホール30周年」 <p>★イベントのご案内★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SENSHU(泉州)アートサミット ・阪南市いのちを守る植樹祭(鎮守の森のプロジェクト) ・地域教育協議会フェスティバル <p style="text-align: right;">です。</p> </div> <p>(森下)：石川さん、今日も、阪南市の「魅力」、そこで、活躍する「ヒト」の魅力を お届けできそうですね。</p> <p>(石川)：はい。最後まで、どうぞお楽しみください。</p> <p>カメラで、佐藤さん、石橋さんも一緒に映す。</p>	

(森下) : 最初のコーナーは、「^{ボッチャ}boccia たのしめかい(会)！」です。
 どのようなご案内をしていただけるか楽しみです。
 阪南市社会福祉協議会の佐藤 萌香(もえか)さん、泉州ボッチャクラブの
 石橋 亨弘(としひろ)さんにお越しいただいています。
 よろしくをお願いします。

(佐藤・石橋) : よろしくをお願いします。

<拍手> (全員で拍手します)

(石川) : 本日は、「ボッチャとはどういうものなのか」、そして「ボッチャたのしめ
 かい(会)」の雰囲気について、詳しく伺ってみたいと思います。
 佐藤さん、この事業はSDGs 17の目標のどれに結びついていますか。

(佐藤) : 誰も一人ぼっちにしない共生の地域づくりとして、
 おもに 3 番の「すべての人に健康と福祉を」、
 11 番の「住み続けられるまちづくりを」の二つに当てはまると思います。

説明したいこと

(森下) : ありがとうございます。
 この、社会福祉協議会(社協)で行っている、「ボッチャたのしめかい(会)！」
 はどのような事業ですか？

(佐藤) : 私どもは、地域福祉活動推進の中で、誰もが自分らしく「キラキラ」活躍
 できる地域をめざしています。4年前からボッチャを中心とした、ニュー
 スポーツで多世代交流や障がい者理解、障がい者スポーツの普及を目的と
 して年1回「ニコフェス」という事業を行ってきました。
 参加した方から「もっとボッチャがしたい」という声があり、身近な居
 場所での交流をめざしてきました。
 そして、今年度から月に1度の開催になり、「ボッチャたのしめかい(会)」
 がスタートしました。

(石川) : 今日は、石橋さんにもお越しいただいていますが、石橋さんと社協の関係
 はどのような感じですか？

(佐藤) : 石橋さんは阪南市でボッチャを広めていきたいという思いをずっと持って
 おられました。その思いを知り、社協としても、身近な居場所で地域住民
 の皆さんが交流することが出来る事業を進めていくために、一緒に企画を
 し、進めてきました。
 石橋さんには、どういう風にこの場を展開していくかなど、色んな相談を
 させていただいています。

(石川) : 一緒に協力しながら、進めてきたという感じですね。

(森下) : ところで佐藤さん、「ボッチャ」っていったいどのようなものですか。

画像 1 ボッチャの様子

画像 2 ボッチャの様子

画像 3 ボッチャの様子

画像 4 ボッチャの様子

(佐藤) : 申し訳ないです。先ほどから、ボッチャボッチャって、知らない人は一体何なのかわからないですよ。

私から簡単に説明しますね。

「ボッチャ」は、重度の脳性まひ者や同程度の重度障がい者が四肢にある人のためにヨーロッパで考案されたスポーツです。

ジャックボールという目標球である白いボールに、赤・青のそれぞれ3球ずつのボールをいかに近づけるかを競います。

カーリングのように、相手のボールを弾いたりして、自分が優位に立てるよう位置取りをしていきますが、的を弾いて移動させることができます。パラリンピック公式種目でもあり、とても魅力ある、誰でも参加できるスポーツです。

(石川) : なるほど。なんだかルールは分かりやすい感じがします。

パラリンピックの公式種目だったことは知りませんでした。

(森下) : となると、もちろん試合や大会とかもあるわけですよ。

(佐藤) : もちろんあります。大会では、BC1～BC4 までのクラスがあります。障がいの程度、重さによって出場するクラスが異なってきます。

個人戦や、チーム戦、ペア戦といった出場方法があります。

クラスによって、アシスタントを付けてもいいか、補助器具のランプを使うかなど決まっています。

ボッチャたのしもかい(会)は、その日の参加者に合わせて行っています。だいたい、赤・青に3人1チームに分かれて1コート6名で戦います。

車いすの方はそのまま、他の方は椅子に座ったり、地面に座ったりして投げます。気をつけないといけないルールがあります。お尻を浮かしてはいけなし、線を踏んでもいけません。

ボール

ボールを手に取りながら

(佐藤) : これが実際に使われるボールです。

石川さん、森下社協のボールと石橋さんのボールを手にとって一度比べてみてください！

ボール**ボールを渡す**

(石橋)：これが、ぼくのボールです。

ボールのお手入れをきちんとすると、硬さ、転がり方に大きく影響します。皮のボールにハンドクリームを塗ったり、柔らかくしたい人は車いすで踏んでほぐしたりします。

(石川)：(驚いた感じで) 重さや硬さが全然違いますね。

(森下)：このボールは、必ず手で投げないといけないのですか。

(石橋)：そんなことはありません。僕の場合はランプという補助器具を活用し、アシスタントに調整をしてもらいプレーをしています。一度、映像をご覧ください。

映像1 石橋さんの動画(10秒)**映像2 石橋さんの動画(15秒)****ランプを見せながら**

(佐藤)：石橋さんは、ランプという補助器具を使ってボールを転がします。

今日はランプを持って来ていただきました。

参加者の中には、視覚障がいがある方もいますが、音のする方向に投球します。こちらを見てください。

映像3 拍手をして投げる動画(6秒)

(森下)：素晴らしい技ですね。驚きました。

(佐藤)：初めて参加した人でも、「こんなに楽しいスポーツだと思わなかった」、「誰でも活躍できるので本当に素敵だと思う」など、いろんな声をいただいています。

映像4 プレーの動画(60秒)**画像5 集合写真**

(佐藤)：参加すればもっと魅力を感じていただけます。ボッチャを通して、普段つながりのない人達と出会うことができます。プレーの中で「楽しい、悔しいといった気持ち」や笑顔を共有することもできます。終わるころには、みんなの自然で素敵な笑顔が見られるので、その瞬間がたまらなく嬉しいです。

(石川)：良い取組ですね。補助器具や、誰かのサポートがあれば本当に誰でも参加

できるし、ルールも単純だし楽しい中に学びありと言う感じですね。

(佐藤)：おっしゃるとおりです。参加者それぞれの中での小さな気づきや、発見が「みんなが自分らしくキラキラできる場所」につながっていくと信じています。

数年前から参加してくださっている方にインタビューをしたのでご覧ください。

映像5 参加者の声 (55秒)

(佐藤)：この方は、泉州ポッチャクラブ 木澤 政男 (きざわ まさおさん) です。「以前までは、パラリンピックをめざしていましたが、ぼくのコントロールでは難しいことがわかりました。それからは、楽しむことを目的に参加しています。」とおっしゃってくださいました。

(石川)：いろんな思いや、目的を持って参加されていることがわかりました。最近テレビでも、よく取り上げられているのも見ますよね。

(佐藤)：そうなんです。阪南市でももっと多くの人に知ってもらいたいと思いながら、「ポッチャたのしもかい(会)」を開催しています。

一度やってみれば絶対にはまるはずです！

4年前から現在に至るまで、石橋さんとともに進めてきましたが、石橋さんはどのような思いを持って参加してくださっていますか。

(石橋)：なかなか、外に出る機会が少ない人や、出にくい人、障がいのある人無い人、いろんな人が関われるような場にしたいです。本当の目的は、『みんなで集まってたまり場みたいにすること』です。そのための手段が、ポッチャであると考えています。集まれるし、ポッチャを知る機会にもなるし、いい感じですよ。

(森下)：必要にされている場になっているんですね。

(石川)：毎月の参加人数はどのくらいですか？

(佐藤)：多い時で30名を超えます。少ない時は、6名。

ワイワイ出来る時もあれば、じっくり楽しむ時もある、様々です。

人数が多いから良いというわけではなく、「誰か」の「居場所」であることが大前提だと考えています。第3土曜日は社協の体育館が空いていて、ポッチャができるという「安心感」を持ってもらえたらそれで十分だと思います。まずは、継続して続けていく事が大切かなと思います。

(石川)：たいせつなことですよ。石橋さんはどう思われますか？

(石橋)：僕も同じ思いです。でも本音を言えば、もっと来てもらえたら嬉しい。車いすユーザーや重度の障がいがある人、大人でも子どもでも、親子でもだれでも。

(佐藤)：関係機関などにチラシを配布して周知はしていますが、もっといろんな方々に知ってもらいたいと思っています。宣伝してもいいですか？

(石川)：もちろんです！PRしてください！

画像6 チラシ (PDF)

(石橋)：毎月第3土曜日の13時から、地域交流館の体育施設で開催しています。ぜひのぞいてみて下さい。

(佐藤)：ご不明な点があれば、社会福祉協議会の佐藤までお問い合わせいただければと思います。電話番号は、072-472-3333です。

(石川)：2020年には、パラリンピックもありますし、阪南市でももっと盛り上げていろんな人に参加してもらいたいですね。

(佐藤)：石川さんもぜひ！市長と一緒にきてくださいね。

(石川)：アドリブをお願いします。

(森下)：今日は、阪南市社会福祉協議会の佐藤さん、泉州ボッチャクラブの石橋さん、ご出演ありがとうございました。

(佐藤・石橋)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)

CM 「阪南市シティプロモーションムービー (全編) 1分30秒」 (添付)

(<https://www.youtube.com/watch?v=l2UY8IVzilw&t=15s>)

CM 「阪南市シティプロモーションムービー (子育て編) 52秒」 (添付)

(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名		
コーナー②<「妊婦歯科健康診査と不妊不育治療費助成事業について」-約8分->		
<p>12:23 出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下(司会) ・石川(ナビゲーター) ・後藤(健康増進課) <p>(準備するもの)</p> <p>CM中に長机・椅子並べる 妊婦歯科健康診査受診券、フリップ</p>	<p>片付け、②道具 準備担当・・・ 森下、石川、女性職員 長机と椅子並べる担当・・・ 電算班、行経室、男性職員</p> <p>(森下)：次のコーナーは、保健センターからのお知らせです。 健康増進課の後藤さんにお越しいただいています。よろしくお願いします。</p> <p>(後藤)：よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手>(全員で拍手します)</p> <p>(石川)：後藤さん、早速、保健センターのお知らせをご紹介します。</p> <p>(後藤)：はい。阪南市では、10月から妊婦歯科健康診査と不妊不育治療費助成事業が始まりました。</p> <p>(石川)：この事業は、SDGsの17の目標のどれにひもづいていますか。</p> <p>(後藤)：3番の「すべての人に健康と福祉を」、11番の「住み続けられるまちづくりを」の二つに当てはまります。</p>	
	<p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(森下)：では、まず妊婦歯科健康診査について教えていただけますか。</p> <p>(後藤)：妊娠中に、市内の委託医療機関において歯科健診を受けていただく事業です。</p> <p>(森下)：「妊娠中はお腹の赤ちゃんにママの歯のカルシウムがとられるから歯が悪くなる。」という噂を聞いたことがありますか。</p> <p>(石川)：はい、私も聞いたことがあります。</p> <p>(後藤)：そうですね、そんな話を一度は聞いたことがあるかもしれませんが、実は一度形成された歯から赤ちゃんのためにカルシウムがとられて悪くなるということはないんです。</p> <p>(森下)：では、「妊娠中に歯が悪くなる」と言われているのはなぜなのでしょう。</p> <p>(後藤)：妊娠中は女性ホルモンが急激に増加することで、歯周病菌が増えやすくなったり、歯肉の炎症が起こりやすくなるんです。また、つわりなどで食生</p>	

活が乱れたり、ていねいな歯磨きが難しくなることでお口の健康を保ちにくくなると考えられます。

(森下)：だから妊娠中に歯が悪くなると言われているんですね。妊娠中のお口の健康が赤ちゃんに影響することもあるんですか。

(後藤)：はい。妊娠中のママの歯周病が早産や低体重児出産のリスクを高めることがわかっています。

(石川)：では、妊娠中のお口の健康を保つことはお腹の赤ちゃんが元気に生まれてくることにもつながるわけですね。

(後藤)：そうなんです。そこで、妊娠中のお口の状態を知っていただき、健康に保つため、「妊婦歯科健康診査」を実施することになりました。

(森下)：では、「妊婦歯科健康診査」を受けるには、どのようにしたらいいですか。

(後藤)：医療機関等で妊娠が確認され、母子手帳を取りに行くよう言われた方は、保健センターで直接、妊娠の届出をしていただきます。
その時に「妊婦健康診査」を受けるときに使用できる受診券などをお渡しするのですが、その際この受診券をお渡しします。

受診券

先ず、妊婦歯科健康診査受診券（実物）を映す

画像 1 受診券 適当に切り替える

(後藤)：あわせて、健診を行っている委託医療機関の一覧もお渡ししますので、その中から医療機関を選んで、事前に予約をしてから受診していただきます。

(森下)：まずは事前に予約が必要なんですね。
受診時に必要なものや費用はどうなりますか。

(後藤)：はい。この受診券と母子手帳を必ずお持ちください。なお、歯科健診については無料で受けていただくことができます。

(森下)：この機会に、たくさんの妊婦さんに歯科健診を受けていただきたいですね。もう一つのお知らせ「不妊不育治療費助成事業」について、説明をお願いします。

(後藤)：はい。「不妊不育治療費助成事業」というのは、不妊症や不育症の方がその治療や検査を受けるときの費用を阪南市が一部助成する事業です。

(石川)：どのような方が助成を受けられるのですか。

フリップ1

フリップ1を映しながら

(後藤)：こちらに記載のとおり、①治療開始日に婚姻している夫婦であり、②治療日と申請日ともに 阪南市に住民票のある夫婦で、③治療の開始日に妻の年齢が43歳未満であり、④治療期間中と申請日に夫婦共医療保険各法に規定する被保険者、組合員又は被扶養者であり、⑤申請する年度の前年の夫婦の所得合計が730万円未満である方。

この5つの条件を全て満たすご夫婦が対象となります。

(森下)：どのような治療や検査が対象となりますか。

(後藤)：医療機関で医師が必要と認めた不妊治療等が対象となるのですが、大阪府の特定治療支援事業で対象となる治療や検査については、この事業の対象外となります。

(森下)：大阪府でも不妊治療などの助成があるんですね。

(後藤)：そうなんです。大阪府が対象としているのは、体外受精や顕微授精などの治療です。不妊治療にはそれ以外にも色々なものがあり、この事業は、大阪府の事業で助成の対象外になる治療や検査について対象としています。

(森下)：具体的に、助成の内容はどのようなものですか。

フリップ2

フリップ2を映しながら

(後藤)：助成回数は1年度につき1回で、助成金の額は不妊治療等に要した費用につき、一人当たり5万円を上限に助成します。

(森下)：治療の都度ではなく、まとめて年度内に1回申請できるということですね。

(後藤)：はい、そうです。

(石川)：「不妊不育症の治療や検査は費用負担が大きい」と聞いたことがありますので、今回の事業を利用して、負担を少しでも軽くできると良いですね。

(森下)：保健センターの後藤さんには、10月から始まった新しい事業「妊婦歯科健康診査」と「不妊不育治療費助成事業」について、説明していただきました。ありがとうございました。

(後藤)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)

コーナー名	
コーナー③<「高齢者予防接種について」 -約8分->	
<p>12:33 出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下(司会) ・石川(ナビゲーター) ・坂本 (健康増進課) 	<p>(石川)：続いてのコーナーも、保健センターからのお知らせです。 健康増進課の坂本さん よろしくをお願いします。</p> <p>(坂本)：お願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手>(全員で拍手します)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(森下)：坂本さんからは、「高齢者予防接種」のお知らせということですが、どのような内容か、教えていただけますか。</p> <p>(坂本)：はい。市が実施する高齢者の予防接種は「インフルエンザ」と「肺炎球菌」の2種類があります。 インフルエンザ予防接種は、感染を完全に阻止する効果はありませんが、「発病阻止(34~55%)、死亡阻止(82%)」の効果があると報告があります。 肺炎球菌予防接種も重症度と死亡のリスクを軽減させると言われています。 この事業も、SDGsの3番の「すべての人に健康と福祉を」、11番の「住み続けられるまちづくりを」に当てはまります。</p> <p>(森下)：この予防接種は、どのような人が対象になりますか。</p> <p>(坂本)：予防接種を受ける当日に阪南市に住民登録がある方で、インフルエンザの対象者は「65歳以上」、肺炎球菌の対象者は「65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上」の方です。 肺炎球菌は5歳刻みとなっていますが、これは年度で対象者が決まっています。 4月広報と一緒に各家庭にお配りしている阪南市保健事業年間行事予定表9ページに生年月日で対象者を載せていますので、ご自身が対象者かどうかご確認ください。</p> <p>画像 1.年間行事予定表 9ページ開始</p> <p>(坂本)：その他「60歳から64歳の方で、心臓、腎臓又は呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいがある「身体障がい者手帳1級程度の障がい」を有する方も対象になります。</p> <p>(森下)：他に注意事項はありますか。</p> </div>

(坂本)：まず、高齢者の予防接種は、こどもの予防接種と違い「努力義務」はありません。主に「個人予防」の目的で行うものであり、「自らの意志と責任で接種を希望する場合」に接種を行うことができます。

また肺炎球菌に関しては、「過去1度でも肺炎球菌の予防接種を受けたことがある方は、市の補助対象外」となります。これは市の補助を受けず、自己負担で接種した分も含まれます。ご注意ください。

年間行事予定表

年間行事予定表（実物）を映しながら

(森下)：接種期間はいつまでですか。

(坂本)：インフルエンザは「10月15日～12月31日」まで
肺炎球菌は「令和2年の3月31日まで」です。

(森下)：費用はかかりますか。

(坂本)：自己負担額として、インフルエンザは1,000円、肺炎球菌は4,000円が必要です。

生活保護世帯の方は、接種前に市役所生活支援課で発行する「生活保護受給証明書」を医療機関にご持参いただくと無料になります。

画像2.年間行事予定表 10ページ

(森下)：予約方法や持参品を教えてください。

(坂本)：接種前に必ず予約が必要ですので、先ほどの年間行事予定表10ページに載っている医療機関で予約をしてください。

また接種当日は、健康保険証をご持参ください。

生活保護世帯の方は「生活保護受給証明書」

身体障がいの方は「身体障がい者手帳」もご持参ください。

案内はがき

肺炎球菌案内はがき（実物）

(坂本)：また、肺炎球菌の予防接種は、令和元年8月末日現在の接種情報を元に、未接種の方に9月末に案内はがきを送付してまいりますので、本状もあわせてご持参ください。

なお、案内はがきには、9月や10月に接種された方、自己負担で接種された方の情報は反映しておりません。また、すでに接種がお済みの場合は、市の補助対象外となりますのでご注意ください。

(石川)：インフルエンザや肺炎を予防するために、生活で注意することはありますか。

(坂本)：そうですね。高齢者の方の健康を守るために、阪南市としても予防接種の

	<p>補助を行っていますが、ご自身が日頃から生活リズムを整えること、バランスのとれた食事をする事、十分な睡眠をとる事も必要です。 ふだんから手洗いを心がけ、症状に応じてマスクをする（咳エチケット）も大切です。</p> <p>これから寒くなりますので、皆さん体に気をつけてお過ごしください。</p> <p>(森下)：インフルエンザは流行しはじめると、予防接種の予約がとりにくくなりますよね。肺炎球菌予防接種の対象者の方も、余裕をもって、予約をとって予防接種をお受けください。 健康増進課 坂本さん、ご案内ありがとうございました。</p> <p>(坂本)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)</p>
--	--

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（観光編） 45秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=B6a76Dhpcsw>)

コーナー名	
コーナー④＜「はんなん産業フェア」×「阪南音楽秋花火」×「阪南うまいもん市」 -約 7分->	
<p>13:42 出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下 (司会) ・石川 (ナビゲーター) ・草竹 茂樹 くさたけ しげき (阪南市商工会 青年部長) ・見本 和子 みもと わこ (阪南市商工会) 	<p>(石川)：毎年恒例の産業フェア。今年はずいぶん違うようです。 阪南市商工会青年部 部長の草竹 (くさたけ) さん、同じく阪南市商工会の見本 (みもと) さん、にお越しいただいています。 よろしくお祈いします。</p> <p>(草竹・見本)：よろしくお祈いします。</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow;">＜拍 手＞ (全員で拍手します)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(森下)：「はんなん産業フェア」×「阪南音楽秋花火」×「阪南うまいもん市」どのようなイベントかご紹介ください。</p> <p>(見本)：11月3日 (日・祝) 午前10時30分から午後8時まで、今年はず場所をぴちぴちビーチのある「せんなん里海公園」に移して開催します。 公共交通機関をご利用であれば、南海線箱作駅から徒歩15分です。 有料駐車場もありますので、お車でもお越しいただけます。</p> <p style="background-color: #00b0c0; color: white; padding: 2px;">画像 1 はんなん産業フェア (前回写真) 開始</p> <p>(見本)：はんなん産業フェアは今年で19回目となる、地域産業の活性化と知名度向上を目的とした阪南市商工会が主催するイベントです。 イベント当日は、ものづくりへの関心を高めるための展示をはじめとする産業観光プロモーション・各種体験教室、地元企業による工場見学案内・プレゼンテーション、阪南市での創業を目指す方の相談窓口の設置・実際に創業した方を対象とした販路拡大のためのチャレンジショップ、阪南ブランド十四匠・阪南コットンプロジェクト・和紙の布工房・木糸などの商工会事業をご紹介します。 今回は特に「花火バル」と称して地元グルメが一堂に集結しますので、食べ歩きも楽しんでいただけますよ。</p> <p style="background-color: #00b0c0; color: white; padding: 2px;">画像 1 はんなん産業フェア (前回写真) 終了</p> <p>(森下)：「はんなん産業フェア」だけでも、盛りだくさんな内容ですね！ お子様からご年配の方まで、阪南市の産業を身近に楽しく触れられますね。他には、どのような催しがありますか。</p> <p style="background-color: #00b0c0; color: white; padding: 2px;">画像 2 ステージ写真 (前回写真) 開始</p> <p>(見本)：共催となる「阪南うまいもん市」をはじめ、物産展には飲食店も含め60を超える事業所が参加予定です。また、当日はダンスやバンド演奏などの</p> </div>

ステージイベント、ゴミ拾いバトルやキャンドルナイトなどの会場内イベントが目白押しです。

イベントの始まりから終わりまで、「食べて・飲んで・見て・体験して」と、ご来場者には楽しい1日を過ごしていただけたらと思います。

画像2 ステージ写真（前回写真）終了

(森下)：そして気になるのが、「阪南音楽秋花火」です。11月の花火は珍しいですね。

画像3 花火写真（前回写真）開始

(草竹)：阪南市商工会青年部を中心として構成する、HANA HANA BEE EN（ハナハナビーン）が「阪南音楽秋花火」を実施します。

おっしゃるように、この時期の花火の打ち上げは珍しいと思います。何せ、2019年の大阪湾最後の花火です。特に阪南市独自の臨場感あふれる花火は異空間を醸し出します。

今年、たくさん花火をご覧になられた方も、なかなか観に行けなかった方も、11月3日（日）19時打ち上げ予定の「阪南音楽秋花火」が見納めです！阪南市の活性化や産業の発展を祈る気持ち、協賛いただいた方の願いなど、様々な思いが込められています。音に合わせて打ち上げる、秋の澄んだ夜空を彩る花火をぜひ、ご体験ください！

画像3 花火写真（前回写真）終了

(石川)：お話を伺っていると、今回のイベントはSDGsのゴールに当てはめると **8番 働きがいも経済成長も、9番 産業と技術革新の基盤をつくろう、17番 パートナースhipで目標を達成しよう**と、様々な要素が詰まっていますね。

(森下)：本当にそうですね。

(草竹)：ただいま今回のイベントにご協力いただけるボランティアスタッフを募集しています。興味のある方、私たちと一緒にイベントを盛り上げませんか。さらに、人工磯浜に観覧席を設けました！この観覧席では花火を独り占めできます。チケットは本当に残りわずかですが、ございますので、詳しくは阪南市商工会までお問い合わせください。

(森下)：今回のイベントは朝から晩まで、どのタイミングで行っても楽しめるコンテンツが盛りだくさんですね。

(石川)：天気がよければ、せんなん里海公園から夕日を楽しんでいただくこともできます。11月3日文化の日には、視聴者のみなさまも、ぜひ、せんなん里海公園へお越しください。

(森下)：草竹（くさたけ）さん、見本（みもと）さん、本日はありがとうございました。

(草竹・見本)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（子育て編） 52秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名	
コーナー⑤<文化財ミニ展示「サラダホール 30 周年」 -約 13 分->	
<p>12:49</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下 (司会) ・石川 (ナビゲーター) ・山千代 <p>(生涯学習推進室)</p> <p>(準備するもの)</p> <p style="background-color: #00ff00;">フリップ</p> <p style="background-color: #00ff00;">パンフレット</p>	<p>(森下) : 食欲の秋、スポーツの秋、そして文化の秋。 次は、生涯学習推進室の山千代 (やまちよ) さんにお越しいただいています。 よろしくお願いします。</p> <p>(山千代) : よろしくお願ひします。</p> <p style="text-align: center; background-color: #ffff00;"><拍手> (全員で拍手します)</p> <p>(石川) : 視聴者のみなさんは「生涯学習推進室って、どんな業務をしている部署なんだろう。」と思うのが率直な意見だと思います。</p> <p>(山千代) : そうですね、漢字からして思い浮かばない方も多いと思います。 人の一生を表す、「生涯」と、まなぶことを表す「学習」を、推し進める ところ、ということで、「生涯学習推進室」です。</p> <p>(石川) : 「生涯学習」の対象になるものは、すごく幅が広そうですね。 文化やスポーツも、「生涯学習」ですよ。</p> <p>(山千代) : はい。イメージに無いと言われるかも知れませんが、実は「文化財保護」 も「生涯学習」分野に入ります。 今日は、その文化財情報をご紹介します。</p> <p>(石川) : すると、生涯学習推進室では、担当によって目標が異なってきましたね。 文化財業務は、おもに、SDGs のどの目標に結びついていますか。</p> <p>(山千代) : 11 番の「住み続けられるまちづくりを」 に当てはまります。 この目標には「世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する」 ことも含まれています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(森下) : では、生涯学習推進室の文化財担当では、どのような住民サービスをされていますか。</p> <p>(山千代) : 阪南市のさまざまな歴史について、調査をおこない、阪南市の歴史の 掘り起こしをしています。また、それを「わかりやすく、伝える」という ことに取り組んでいます。</p> <p>(森下) : 「文化財」や「歴史」と聞くと、難しいって思っています。</p> </div>

(山千代)：そうですね。歴史好きで、興味がある方以外はそうってしまうかも知れませんね。
でも、「阪南市ってどんなところ？」というお話になると、ひとつやふたつは、歴史が関係してくると思います。阪南市の歴史を掘り起こすことで、「阪南らしさ」を発見し、それをみなさんへお知らせすることが大事だと思っています。

(石川)：そこで今回は、「阪南らしさ」をご紹介できる「文化財のミニ展示」ということなんですね。

画像 1 「サラダホール 30 周年」ポスター 開始

(山千代)：はい。阪南市立文化センターと、市立図書館が入る、サラダホールは、平成元年11月に開館し、今年で30周年を迎えます。
これを記念して、サラダホール開館当初のグッズや、サラダホールが建っている場所の歴史などを紹介します。
いま、お示ししているものは、この展示のポスターです。
市役所庁舎や、公民館などの社会教育施設などに掲示していますが、ここであらためて、説明させていただきます。
展示は10月3日から始まっていて、来年の3月31日火曜日まで約半年続きます。

画像 1 「サラダホール 30 周年」ポスター 終了

画像 2 文化財ミニ展示のようす 開始

場所は、サラダホール2階ロビーです。玄関を入り、正面の右奥の階段を上っていただきます。そこから、左へ折れた、壁沿いに、3つの展示ケースがあります。
囲いや、ゲートなどはありませんので、気軽にご覧いただけます。
図書館やイベントなどでホールにお立ち寄りの際は、是非とも2階ロビーの展示まで足を運んでください。

(石川)：2階へはエレベーターで上がっていただくこともできます。期間も長いので、たくさんの方に知っていただけるといいですね。

画像 2 文化財ミニ展示のようす 終了

(山千代)：ちなみに、石川さん、「サラダホール」の名称は、どのように決まったか、ご存知ですか。

(石川)：アドリブでお願いします。

(山千代)：アドリブで返します。

フリップ

フリップ サラダホールのロゴ を映しながら

(山千代)：では、この、「サラダホール」ロゴは、何を表してるかわかりますか。

(森下)：「サラダ」という名前だけに、野菜が表現されていそうですね。

(石川)：アドリブをお願いします。

(山千代)：（実は or おっしゃるとおり、）ラディッシュです。
サラダのフレッシュなイメージがよく表れていますよね。
また、ラディッシュの部分をよくご覧いただくと、
「さ」、「ら」、「だ」、とひらがなで書いています。

(森下)：あ！本当ですね。「さ」、「ら」、「だ」、が隠れています。
言われて気づく、おもしろさがありますね。

フリップ サラダホールのロゴ 掲示終了

(山千代)：歴史にも、言われて気づく、おもしろさがまだまだあると思います。
その気づきが、「阪南らしさ」につながります。

(石川)：さきほどのポスターでの説明でありましたが、今回の展示では、サラダホールが建つ場所の歴史についても、紹介されるのですか？

(山千代)：はい、そうです。
サラダホールや、今の市役所庁舎が建っている場所は、もともと皿田池という大きな池でした。これが、「サラダホール」の名前の由来です。

画像3 南海町営プール 開始

(山千代)：池が埋め立てられた跡地は、昭和42年に南海町運動広場と、南海町営プールに、昭和51年に運動広場が阪南町役場、つまり、現在の市役所庁舎に、そして、平成元年にプールは、サラダホールになります。
今回は、皿田池や、南海町営プールの写真パネルを壁面に飾ってご紹介しています。

阪南市にずっとお住まいの方で、40から50歳以上の方であれば、プールで遊んだことや、グラウンドで運動した思い出がおありになるのではないのでしょうか。

画像3 南海町営プール 終了

(森下)：なつかしい！と思う写真があるかもしれないですね。

(山千代)：このすべり台で滑ったなあとか、お話をしながら見ていただくと、うれしいですね。

画像4 江戸時代皿田池絵図 開始

(山千代)：次に展示ケース内の陳列内容のお話をします。

展示は、江戸時代の皿田池の絵図からはじまり、サラダホールを建てているときの写真や、開館の記念品、開館記念公演のパンフレットを並べています。

画像4 江戸時代皿田池絵図 終了**画像5 皿田池 開始**

(山千代)：また、展示がはじまる場所には、8ページのパンフレットを置いております。その中にも、皿田池とサラダホールに関するさまざまなお話を取り上げています。

たとえば、明治、昭和、平成にかけて、5枚の測量地図を掲載しています。この地図で、皿田池の敷地の変化を時代ごとに追ってみてください。そうしますと、今の市役所やサラダホールの敷地が、ちょうど池の形に似ていることに気づいていただけたと思います。

画像5 皿田池 終了**パンフレット****パンフレットを持ちながら**

(石川)：私もパンフレットをいただきました。

池だけでなく、周辺の変化も気になるので、しばらく、見入ってしまいました。江戸時代の絵図の説明もあるので、展示と合わせて見るのも良さそうです。

(山千代)：はい、パンフレットもぜひご覧ください。

(森下)：歴史と聞くと、つい足が遠のいてしまっていたのですが、「知ってみたら、意外とおもしろい!」ということに出会えるかも・・・
無料で、気軽に行けるのも良いですね。

(山千代)：はい。3月まで展示していますので、市役所やサラダホールの近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

(森下)：生涯学習推進室の山千代さん、本日はありがとうございました。

(山千代)：ありがとうございました。 **<拍手> (全員で拍手します)**

CM 「11月是指名手配被疑者捜査強化月間です 1分22秒」

コーナー名			
★イベントのご案内★ < 「SENSHU（泉州）アートサミット」 -約8分->			
<p>13:04</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下（司会） ・石川（ナビゲーター） ・岡田 <p>（生涯学習推進室）</p> <p>（準備するもの）</p> <p>ポスター</p>	<p>(森下)：続いてのコーナーは、イベントのご案内です。 生涯学習推進室の岡田さん、よろしくお願いします。</p> <p>(岡田)：よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow;"><拍手>（全員で拍手します）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">説明したいこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>画像 1 泉州アートサミットチラシ 適当に切り替える</p> <p>ポスター 適当に切り替える</p> <p>(岡田)：10月26日（土）にサラダホール・大ホールで「SENSHU（泉州）アートサミット」というイベントを開催します。 現在、各地域やいろいろな活動の中でさまざまな課題があると思いますが、そのテーマを超えて、つながり、出会い、ともに行動することが何より求められていると思います。 この「泉州アートサミット」は“文化”をキーワードに、さまざまな個人や団体が結集し、誇りと愛着をもって泉州エリアの持続的な発展と活性化をめざす仕組みづくりを考える場、およびイベントです。</p> <p>(森下)：このイベントは、毎年開催しているのですか。</p> <p>(岡田)：いえ、昨年泉大津市の呼びかけで始まり、泉州地域の4つの自治体の文化行政担当部署と、大阪府、市民活動団体などが協力して実施します。 第1回のサミットでは、日本を代表する劇作家である平田オリザさんをゲストに迎え、「地方の活性化に何が必要か」について活発な議論をおこないました。 地方がこれからがんばるためには、「地域の方々が独自の文化を武器に、自分たちのことは自分たちで決められる能力を持つ」ということが不可欠だと、前回の公演で平田オリザさんは主張されていました。 この講演を、ぜひ阪南市の多くの方にお聞きいただきたいと考え、今回も平田オリザさんをゲストに迎え、第2回目を阪南市で開催することになりました。</p> <p>(森下)：熱い思いが伝わってきますね。</p> <p>(岡田)：今回はテーマを「まちづくりのための仕組みづくりネットワークとコミュニケーション」として、オリザさんの基調講演のほか、事例発表として、阪南市の西鳥取地区で地域の特色を活かした活動をされている「おにぎり</p> </td> </tr> </tbody> </table>	説明したいこと	<p>画像 1 泉州アートサミットチラシ 適当に切り替える</p> <p>ポスター 適当に切り替える</p> <p>(岡田)：10月26日（土）にサラダホール・大ホールで「SENSHU（泉州）アートサミット」というイベントを開催します。 現在、各地域やいろいろな活動の中でさまざまな課題があると思いますが、そのテーマを超えて、つながり、出会い、ともに行動することが何より求められていると思います。 この「泉州アートサミット」は“文化”をキーワードに、さまざまな個人や団体が結集し、誇りと愛着をもって泉州エリアの持続的な発展と活性化をめざす仕組みづくりを考える場、およびイベントです。</p> <p>(森下)：このイベントは、毎年開催しているのですか。</p> <p>(岡田)：いえ、昨年泉大津市の呼びかけで始まり、泉州地域の4つの自治体の文化行政担当部署と、大阪府、市民活動団体などが協力して実施します。 第1回のサミットでは、日本を代表する劇作家である平田オリザさんをゲストに迎え、「地方の活性化に何が必要か」について活発な議論をおこないました。 地方がこれからがんばるためには、「地域の方々が独自の文化を武器に、自分たちのことは自分たちで決められる能力を持つ」ということが不可欠だと、前回の公演で平田オリザさんは主張されていました。 この講演を、ぜひ阪南市の多くの方にお聞きいただきたいと考え、今回も平田オリザさんをゲストに迎え、第2回目を阪南市で開催することになりました。</p> <p>(森下)：熱い思いが伝わってきますね。</p> <p>(岡田)：今回はテーマを「まちづくりのための仕組みづくりネットワークとコミュニケーション」として、オリザさんの基調講演のほか、事例発表として、阪南市の西鳥取地区で地域の特色を活かした活動をされている「おにぎり</p>
説明したいこと			
<p>画像 1 泉州アートサミットチラシ 適当に切り替える</p> <p>ポスター 適当に切り替える</p> <p>(岡田)：10月26日（土）にサラダホール・大ホールで「SENSHU（泉州）アートサミット」というイベントを開催します。 現在、各地域やいろいろな活動の中でさまざまな課題があると思いますが、そのテーマを超えて、つながり、出会い、ともに行動することが何より求められていると思います。 この「泉州アートサミット」は“文化”をキーワードに、さまざまな個人や団体が結集し、誇りと愛着をもって泉州エリアの持続的な発展と活性化をめざす仕組みづくりを考える場、およびイベントです。</p> <p>(森下)：このイベントは、毎年開催しているのですか。</p> <p>(岡田)：いえ、昨年泉大津市の呼びかけで始まり、泉州地域の4つの自治体の文化行政担当部署と、大阪府、市民活動団体などが協力して実施します。 第1回のサミットでは、日本を代表する劇作家である平田オリザさんをゲストに迎え、「地方の活性化に何が必要か」について活発な議論をおこないました。 地方がこれからがんばるためには、「地域の方々が独自の文化を武器に、自分たちのことは自分たちで決められる能力を持つ」ということが不可欠だと、前回の公演で平田オリザさんは主張されていました。 この講演を、ぜひ阪南市の多くの方にお聞きいただきたいと考え、今回も平田オリザさんをゲストに迎え、第2回目を阪南市で開催することになりました。</p> <p>(森下)：熱い思いが伝わってきますね。</p> <p>(岡田)：今回はテーマを「まちづくりのための仕組みづくりネットワークとコミュニケーション」として、オリザさんの基調講演のほか、事例発表として、阪南市の西鳥取地区で地域の特色を活かした活動をされている「おにぎり</p>			

会」などの事例報告や、オリザさんを交えて、泉州地域を結びつけるような活動を展開されている団体によるパネルディスカッションなど盛りだくさんです。

また、この日は朝 10 時からサラダホール玄関前で、協力団体によるアートワークショップやフードマルシェの出店があり、市役所の第 2 会議室では「はんなん共創事業プランコンペ」の公開審査会もあります。

サラダホールがにぎわう一日になりますので、ぜひ朝からご来場ください。詳しくは市のウェブサイト、チラシなどをご覧ください。

(石川) : ところで、先ほど文化財ミニ展示についての紹介がありましたが、30周年を迎えるサラダホールは、いつ開館したのですか。

(岡田) : 平成元年11月3日です。

(石川) : なるほど。文化センターなので、誕生日が文化の日！

(岡田) : はい。SDGs の目標でいうと、11 番「住みつけられるまちづくりを」、17 番「パートナーシップで目標を達成しよう」はもちろんですが、3 番「すべての人に健康と福祉を」、4 番「質の高い教育をみんなに」、そして 8 番「生きがいも経済成長も」と、たくさんのゴールに結びついていきます。

(岡田) : 子どもさんも楽しんでいただける企画になっています。

10月26日(土)は、ぜひサラダホールの「SENSHU アートサミット」にお越しください。

(森下) : 多くの方でぎわうと良いですね。

岡田さん、本日はご紹介ありがとうございました。

(岡田) : ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（観光編） 45秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=B6a76Dhpgsw>)

コーナー名	
★イベントのご案内★ <「阪南市いのちを守る植樹祭（鎮守の森のプロジェクト）」-約4分>	
<p>13:14 出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下（司会） ・石川（ナビゲーター） ・畑中 （危機管理課） 	<p>(森下)：続いては、10月20日（日）阪南市いのちを守る植樹祭のご案内です。 危機管理課 畑中さん、よろしくお願いします。</p> <p>(畑中)：よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手>（全員で拍手します）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(畑中)：10月20日、日曜日、午前10時20分から尾崎小学校におきまして、「阪南市いのちを守る植樹祭」を開催します。</p> <p>(森下)：どのような内容の植樹祭ですか。</p> <p>(畑中)：尾崎小学校の敷地内において、尾崎小学校の児童たちが植樹を行い、広葉樹の森をつくります。 この森は、近い将来、発生が恐れられています南海トラフ巨大地震による津波の被害を抑えることや、火災時の延焼を防ぐなど、子どもたちや地域住民の皆様を守る効果が期待されています。</p> <p>画像1 PDF 鎮守の森のプロジェクト 開始</p> <p>(畑中)：東日本大震災では、神社を囲む常緑広葉樹を中心とした森が防災林として大きな役割を果たしました。森が緑の壁となり、津波の威力を弱め被害を最小限に防いでくれました。 また、阪神淡路大震災では水分を多く含んだ常緑広葉樹が大火から住宅への延焼を防ぎました。</p> <p>(畑中)：「いのちを守る植樹祭」は、大阪府とAIG・ジャパンホールディングスの連携協定に基づき阪南市で開催することとなったもので、「阪南市」と「公益財団法人鎮守の森のプロジェクト」と「AIG損害保険株式会社」との共催で開催します。</p> <p>画像1 PDF 鎮守の森のプロジェクト 終了</p> <p>(石川)：「あの日、なぜ津波から・・・」この言葉、心に響きますね。 1年で1メートル育つ。子どもたちが大人になる頃には、海に近い尾崎小学校に森ができるということですね。</p> <p>画像2 木札 開始</p> <p>(畑中)：はい。この植樹祭におきましては、小学校の敷地内に児童自らの手で苗木</p> </div>

を植え、防災の思いをこめて書いた木札を苗木に掛けます。その意味を知ること、災害に対する児童たちの防災意識の向上を育みます。
また、子どもたちを見守る地域の方々のみならず、阪南市における南海トラフ巨大地震などの災害に対する備えとしての防災・減災啓発につながるものと考えています。

画像2 木札 終了

(石川)：このイベントは、SDGsの11番「住み続けられるまちづくりを」、そして、災害に対する備えや防災について、みなさんで学び意識向上につないでいくという点で、4番「質の高い教育をみんなに」に結びついていきます。

(石川)：見学は自由です。ただし、駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

(森下)：この取組が、実を結ぶことを祈っています。
危機管理課の畑中さん、ありがとうございました。

(畑中)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（子育て編） 52秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名														
★イベントのご案内★ <「地域教育協議会フェスティバル」 -約5分->														
<p>13:20 出演) ・森下(司会) ・石川(ナビゲーター)</p>	<p>(石川)：本日最後は、学校教育課からのご案内です。</p>	<table border="1" data-bbox="395 387 1505 2105"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="395 387 1505 439">説明したいこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 439 1505 577"> <p>(森下)：今日は、学校教育課で出演を予定していましたが、都合により、代わりにお伝えさせていただきます。</p> </td> <td data-bbox="395 577 1505 629"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 629 1505 680"> <p>画像 1 地域教育協議会①</p> </td> <td data-bbox="395 680 1505 732"> <p>画像 2 地域教育協議会② 適当に切り替える</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 732 1505 958"> <p>(森下)：阪南市では、5つの中学校区ごとに「地域教育協議会」があり、毎年フェスティバルが開催されています。 阪南市の子どもと子どもだけでなく、また、子どもと地域の大人がふれあう貴重な機会となっており、地域活動の充実や地域の教育力向上等につながっている取組です。</p> </td> <td data-bbox="395 958 1505 1104"> <p>(石川)：子どもの数が減り、みなさんの生活スタイルも変わって、地域の方々とのふれあいも難しいのではないですか。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1104 1505 1330"> <p>(森下)：そうですね。地域や家庭での教育力の必要性が重要視されるなか、地域教育協議会の果たす役割はとても大きいですね。 阪南市では、「地域の子どもの地域で育てる」ことを趣旨とし、地域の教育コミュニティの更なる充実をめざしています。</p> </td> <td data-bbox="395 1330 1505 1541"> <p>(石川)：SDGsのゴールに当てはめると、3番や4番の福祉や教育だけではなく、 17番「パートナーシップで目標を達成しよう」、 11番「住み続けられるまちづくりを」につながるということですね。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1541 1505 1592"> <p>画像 1 イベント日程 開始</p> </td> <td data-bbox="395 1592 1505 2105"> <p>(森下)：はい。それぞれの開催日や会場について、ご案内します。</p> <p>一つ目 貝掛中学校区 11月2日(土)午前中 子どもとはっぴいデー 会場は貝掛中学校</p> <p>二つ目 鳥取東中学校区 11月2日(土)午後 さわやかふれあいデー 鳥取東中学校</p> <p>三つ目 鳥取中学校区 11月3日(日・文化の日)午前中 はーとりふれあいフェスタ 鳥取中学校</p> <p>四つ目 尾崎中学校区 11月10日(日)午前中 WAVE OZAKI フェスティバル 会場は、尾崎小学校と尾崎中学校</p> </td> </tr> </tbody> </table>	説明したいこと		<p>(森下)：今日は、学校教育課で出演を予定していましたが、都合により、代わりにお伝えさせていただきます。</p>		<p>画像 1 地域教育協議会①</p>	<p>画像 2 地域教育協議会② 適当に切り替える</p>	<p>(森下)：阪南市では、5つの中学校区ごとに「地域教育協議会」があり、毎年フェスティバルが開催されています。 阪南市の子どもと子どもだけでなく、また、子どもと地域の大人がふれあう貴重な機会となっており、地域活動の充実や地域の教育力向上等につながっている取組です。</p>	<p>(石川)：子どもの数が減り、みなさんの生活スタイルも変わって、地域の方々とのふれあいも難しいのではないですか。</p>	<p>(森下)：そうですね。地域や家庭での教育力の必要性が重要視されるなか、地域教育協議会の果たす役割はとても大きいですね。 阪南市では、「地域の子どもの地域で育てる」ことを趣旨とし、地域の教育コミュニティの更なる充実をめざしています。</p>	<p>(石川)：SDGsのゴールに当てはめると、3番や4番の福祉や教育だけではなく、 17番「パートナーシップで目標を達成しよう」、 11番「住み続けられるまちづくりを」につながるということですね。</p>	<p>画像 1 イベント日程 開始</p>	<p>(森下)：はい。それぞれの開催日や会場について、ご案内します。</p> <p>一つ目 貝掛中学校区 11月2日(土)午前中 子どもとはっぴいデー 会場は貝掛中学校</p> <p>二つ目 鳥取東中学校区 11月2日(土)午後 さわやかふれあいデー 鳥取東中学校</p> <p>三つ目 鳥取中学校区 11月3日(日・文化の日)午前中 はーとりふれあいフェスタ 鳥取中学校</p> <p>四つ目 尾崎中学校区 11月10日(日)午前中 WAVE OZAKI フェスティバル 会場は、尾崎小学校と尾崎中学校</p>
説明したいこと														
<p>(森下)：今日は、学校教育課で出演を予定していましたが、都合により、代わりにお伝えさせていただきます。</p>														
<p>画像 1 地域教育協議会①</p>	<p>画像 2 地域教育協議会② 適当に切り替える</p>													
<p>(森下)：阪南市では、5つの中学校区ごとに「地域教育協議会」があり、毎年フェスティバルが開催されています。 阪南市の子どもと子どもだけでなく、また、子どもと地域の大人がふれあう貴重な機会となっており、地域活動の充実や地域の教育力向上等につながっている取組です。</p>	<p>(石川)：子どもの数が減り、みなさんの生活スタイルも変わって、地域の方々とのふれあいも難しいのではないですか。</p>													
<p>(森下)：そうですね。地域や家庭での教育力の必要性が重要視されるなか、地域教育協議会の果たす役割はとても大きいですね。 阪南市では、「地域の子どもの地域で育てる」ことを趣旨とし、地域の教育コミュニティの更なる充実をめざしています。</p>	<p>(石川)：SDGsのゴールに当てはめると、3番や4番の福祉や教育だけではなく、 17番「パートナーシップで目標を達成しよう」、 11番「住み続けられるまちづくりを」につながるということですね。</p>													
<p>画像 1 イベント日程 開始</p>	<p>(森下)：はい。それぞれの開催日や会場について、ご案内します。</p> <p>一つ目 貝掛中学校区 11月2日(土)午前中 子どもとはっぴいデー 会場は貝掛中学校</p> <p>二つ目 鳥取東中学校区 11月2日(土)午後 さわやかふれあいデー 鳥取東中学校</p> <p>三つ目 鳥取中学校区 11月3日(日・文化の日)午前中 はーとりふれあいフェスタ 鳥取中学校</p> <p>四つ目 尾崎中学校区 11月10日(日)午前中 WAVE OZAKI フェスティバル 会場は、尾崎小学校と尾崎中学校</p>													

五つ目 飯の峯中学校区 こちらは平日に開催されます。
11月14日(木)午後 サンサンパーティー 飯の峯中学校

画像1 イベント日程 終了

(森下)：ネーミングを見ていただいても、それぞれ特徴的ですよね。
展示や発表、販売、ゲーム、体験など、小さな子どもさんから小・中学生、
そして大人まで楽しめるコーナーが盛りだくさんです。

画像2 地域教育協議会②再び 適当に切る

「地域の子どもを地域で育てる」阪南市ならではの、の取組です。
今年もそれぞれ趣向をこらしていますので、お時間がございましたら地域
の方もぜひ、この機会にフェスティバルにご参加ください。

(石川)：次回の放送は 11月19日(火)正午 の予定です。

<まとめ>

(森下)：今流れている番組は放送終了後もアーカイブとしてご覧いただけます。
本日も長時間視聴いただきありがとうございました。
それでは みなさん さよーならー